

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 近畿財務局長

**【提出日】** 平成25年11月13日

**【四半期会計期間】** 第85期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** ダイベア株式会社

**【英訳名】** DAIBEA CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 酒 井 祥 夫

**【本店の所在の場所】** 大阪府和泉市あゆみ野2丁目8番1号

**【電話番号】** 0725(53)1711番(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 藤 原 秀 次

**【最寄りの連絡場所】** 大阪府和泉市あゆみ野2丁目8番1号

**【電話番号】** 0725(53)1711番(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役 藤 原 秀 次

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第84期 第2四半期 連結累計期間	第85期 第2四半期 連結累計期間	第84期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	12,109,049	12,187,875	23,201,097
経常利益	(千円)	407,380	475,916	446,646
四半期(当期)純利益	(千円)	267,502	291,473	301,236
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	270,312	309,748	333,007
純資産額	(千円)	10,956,477	11,236,600	10,984,165
総資産額	(千円)	25,277,228	24,523,897	24,971,767
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	15.34	16.72	17.28
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	42.1	44.5	42.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,082,778	1,261,517	2,204,994
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	690,104	1,057,978	1,222,198
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	263,659	185,739	803,321
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	319,643	387,902	370,102

回次		第84期 第2四半期 連結会計期間	第85期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	3.87	10.53

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策への期待感から円安と株高が進行し、輸出関連企業を中心に企業収益が改善するなど景気回復の兆しが見られましたが、欧州景気の停滞や新興国経済の減速による影響等、不安要素を抱えながら推移致しました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、生産の効率化、品質の向上やお客様のニーズにあった製品の提供につとめてまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は121億87百万円（前年同期比0.7%増）となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加えて、原価低減活動の強化等に積極的に取り組みました結果、営業利益は4億2百万円（前年同期比48.6%増）、経常利益は4億75百万円（前年同期比16.8%増）、四半期純利益は2億91百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

#### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は245億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億47百万円の減少となりました。このうち、流動資産の減少（前連結会計年度末比4億98百万円減）は売上債権の減少、固定資産の増加（前連結会計年度末比50百万円増）は有形固定資産の取得がそれぞれ主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は132億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億円の減少となりました。このうち、流動負債の減少（前連結会計年度末比35億74百万円減）は1年内返済予定の長期借入金の返済による減少、固定負債の増加（前連結会計年度末比28億74百万円増）は長期借入金の実行がそれぞれ主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は112億36百万円となり、利益剰余金の増加等により前連結会計年度末に比べ2億52百万円の増加となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ17百万円増加し3億87百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費6億29百万円及び売上債権の減少額6億75百万円等の増加、仕入債務の減少額2億92百万円等の減少により12億61百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ1億78百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出10億68百万円等により10億57百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ3億67百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動におけるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済による支出1億円等により1億85百万円となり、前第2四半期連結累計期間に比べ77百万円の増加となりました。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

また、新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	17,573,454	17,573,454	東京証券取引所 (市場第二部)	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式 単元株式数1,000株
計	17,573,454	17,573,454		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		17,573,454		2,317,954		1,872,005

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
株式会社ジェイテクト	大阪市中央区南船場3丁目5番8号	7,874	44.81
サッポロプレジジョン株式会社	札幌市中央区南一条東2丁目8番2号	526	2.99
シミズ精工株式会社	大阪市天王寺区上本町1丁目1番5号	460	2.62
三井住友信託銀行株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目4番1号	414	2.36
H I C 共栄会	大阪府和泉市あゆみ野2丁目8番1号	391	2.23
光洋熱処理株式会社	大阪府八尾市竹濑東4丁目47番地	350	1.99
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6番6号	319	1.82
ダイバア従業員持株会	大阪府和泉市あゆみ野2丁目8番1号	318	1.81
株式会社天辻鋼球製作所	大阪府門真市上野口町1番1号	230	1.31
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	200	1.14
計		11,083	63.07

(注) H I C 共栄会は、当社の取引先による持株会であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 114,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
	(相互保有株式) 普通株式 90,000		同上
完全議決権株式(その他)	普通株式 17,180,000	17,179	同上
単元未満株式	普通株式 189,454		同上
発行済株式総数	17,573,454		
総株主の議決権		17,179	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式806株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ダイベア株式会社	大阪府和泉市あゆみ野 2丁目8番1号	114,000		114,000	0.65
(相互保有株式) 株式会社トーミック	三重県伊賀市外山 200番地	90,000		90,000	0.51
計		204,000		204,000	1.16

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株あります。なお当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含まれておりますが、議決権の個数(1個)は「議決権の数」欄に含まれておりません。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、京都監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	546,946	558,770
受取手形及び売掛金	8,588,487	7,912,840
商品及び製品	253,537	276,080
仕掛品	1,322,239	1,431,847
原材料及び貯蔵品	218,584	240,924
繰延税金資産	478,359	362,582
未収入金	987,946	1,096,326
その他	9,122	27,594
貸倒引当金	46,000	46,000
流動資産合計	12,359,223	11,860,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,848,051	2,792,584
機械装置及び運搬具(純額)	4,488,320	4,576,906
工具、器具及び備品(純額)	123,977	128,614
土地	1,915,475	1,915,475
建設仮勘定	284,248	235,371
その他(純額)	23,474	60,366
有形固定資産合計	9,683,547	9,709,318
無形固定資産	6,194	4,730
投資その他の資産		
投資有価証券	2,094,006	2,121,243
長期貸付金	16,677	15,783
繰延税金資産	610,287	611,329
その他	216,879	215,574
貸倒引当金	15,050	15,050
投資その他の資産合計	2,922,801	2,948,881
固定資産合計	12,612,543	12,662,930
資産合計	24,971,767	24,523,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,136,903	5,865,467
短期借入金	720,000	620,000
1年内返済予定の長期借入金	<sup>1</sup> 3,000,000	<sup>1</sup> 200,000
未払金	963,335	505,418
未払費用	690,973	702,667
未払法人税等	36,644	54,053
未払消費税等	15,269	55,346
役員賞与引当金	28,500	19,200
環境対策引当金	-	5,856
その他	57,691	46,696
流動負債合計	11,649,316	8,074,705
固定負債		
長期借入金	-	<sup>1</sup> 2,800,000
退職給付引当金	2,171,689	2,227,575
役員退職慰労引当金	138,148	125,619
環境対策引当金	5,856	-
その他	22,590	59,396
固定負債合計	2,338,284	5,212,591
負債合計	13,987,601	13,287,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,317,954	2,317,954
資本剰余金	1,872,174	1,872,174
利益剰余金	6,499,695	6,738,787
自己株式	39,023	39,455
株主資本合計	10,650,800	10,889,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,750	25,111
その他の包括利益累計額合計	15,750	25,111
少数株主持分	317,614	322,027
純資産合計	10,984,165	11,236,600
負債純資産合計	24,971,767	24,523,897

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	12,109,049	12,187,875
売上原価	11,221,845	11,146,046
売上総利益	887,203	1,041,829
販売費及び一般管理費	<sup>1</sup> 616,245	<sup>1</sup> 639,315
営業利益	270,958	402,514
営業外収益		
持分法による投資利益	108,677	92,731
補助金収入	37,400	-
その他	22,068	19,028
営業外収益合計	168,145	111,759
営業外費用		
支払利息	29,529	14,787
支払手数料	-	22,364
その他	2,193	1,205
営業外費用合計	31,722	38,357
経常利益	407,380	475,916
特別利益		
固定資産売却益	1	516
特別利益合計	1	516
特別損失		
減損損失	1,605	5,023
固定資産除却損	1,204	13,578
特別損失合計	2,809	18,602
税金等調整前四半期純利益	404,572	457,830
法人税、住民税及び事業税	40,093	43,808
法人税等調整額	77,236	113,635
法人税等合計	117,330	157,443
少数株主損益調整前四半期純利益	287,242	300,386
少数株主利益	19,740	8,913
四半期純利益	267,502	291,473

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	287,242	300,386
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,971	2,005
持分法適用会社に対する持分相当額	14,958	7,356
その他の包括利益合計	16,930	9,361
四半期包括利益	270,312	309,748
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	250,571	300,835
少数株主に係る四半期包括利益	19,740	8,913

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	404,572	457,830
減価償却費	633,865	629,862
減損損失	1,605	5,023
未払賞与の増減額(は減少)	3,057	3,259
役員賞与引当金の増減額(は減少)	20,500	9,300
退職給付引当金の増減額(は減少)	9,373	55,886
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,485	12,529
受取利息及び受取配当金	1,082	1,147
補助金収入	37,400	-
支払利息	29,529	14,787
支払手数料	-	22,364
持分法による投資損益(は益)	108,677	92,731
有価証券評価損益(は益)	44	17
有形固定資産除売却損益(は益)	1,202	13,062
売上債権の増減額(は増加)	643,042	675,647
たな卸資産の増減額(は増加)	41,096	154,523
その他の流動資産の増減額(は増加)	147,036	125,665
仕入債務の増減額(は減少)	664,419	292,877
その他の流動負債の増減額(は減少)	31,684	55,454
その他の固定負債の増減額(は減少)	-	7,500
小計	1,039,322	1,245,401
利息及び配当金の受取額	77,445	77,524
補助金の受取額	37,400	-
利息の支払額	29,541	31,768
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	41,847	29,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,082,778	1,261,517
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	65,034	58,027
定期預金の払戻による収入	61,210	64,003
有形固定資産の取得による支出	686,913	1,068,618
有形固定資産の売却による収入	40	710
貸付けによる支出	1,000	1,000
貸付金の回収による収入	2,344	1,893
その他の支出	8,272	8,170
その他の収入	7,519	11,231
投資活動によるキャッシュ・フロー	690,104	1,057,978

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金を増減額（は減少）	200,000	100,000
自己株式の取得による支出	411	431
リース債務の返済による支出	5,628	6,244
配当金の支払額	52,619	52,198
シンジケートローン手数料の支払額	-	22,364
少数株主への配当金の支払額	5,000	4,500
財務活動によるキャッシュ・フロー	263,659	185,739
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	129,014	17,800
現金及び現金同等物の期首残高	190,628	370,102
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 319,643	<sup>1</sup> 387,902

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 シンジケートローン契約の残高は次のとおりであり、下記の財務制限条項が付されております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
シンジケートローン契約残高	3,000,000千円	3,000,000千円

(財務制限条項)

各連結会計年度末日における連結貸借対照表の純資産の部の金額を、直前に終了した連結会計年度末日の連結貸借対照表の純資産の部の金額の75%以上に維持すること、および連結損益計算書の経常損益を2期連続で損失としないこと。

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
給料	123,046千円	122,296千円
退職給付費用	14,358千円	17,117千円
役員退職慰労引当金繰入額	17,565千円	19,573千円
役員賞与引当金繰入額	8,460千円	18,630千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	462,679千円	558,770千円
預入期間が3か月を超える定期預金	143,036千円	170,868千円
現金及び現金同等物	319,643千円	387,902千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	52,389	3.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月30日 取締役会	普通株式	34,922	2.00	平成24年9月30日	平成24年11月30日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	52,381	3.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月30日 取締役会	普通株式	52,375	3.00	平成25年9月30日	平成25年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、軸受製造並びにこれらの付帯業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

当社グループは、金利スワップ取引を利用しておりますが、特例処理の要件を満たしているため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15.34円	16.72円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	267,502	291,473
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	267,502	291,473
普通株式の期中平均株式数(千株)	17,433	17,430

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

平成25年10月30日開催の取締役会において第85期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

中間配当金総額 52,375千円  
 1株当たり中間配当金 3.00円

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

ダイバア株式会社  
取締役会 御中

### 京 都 監 査 法 人

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 柴 田 篤 印

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 梶 田 明 裕 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているダイバア株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ダイバア株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。